

大阪・関西万博に関連する国の費用 について

内閣官房国際博覧会推進本部事務局

経済産業省商務・サービスグループ

- 1. 大阪・関西万博に関連する国の費用について**
 - (1) 大阪・関西万博の準備等に直接資する事業**
 - (2) 大阪・関西万博の誘致・登録に係る費用**

- 2. その他の費用について**

1. 大阪・関西万博に関連する国の費用について (1) 2023年12月19日公表版

【大阪・関西万博の準備等に直接資する事業】

(単位:億円)

	今後も含めた国の費用総額の見通し	これまでの国の予算への計上状況		
		~令和5年度 当初予算	令和5年度 補正予算	計
①博覧会協会による会場建設費 (国費負担分) (経済産業省)	最大783億円 (最大2350億円を国、大阪府・市、経済界で1/3ずつ負担)	121	510	631
②日本政府館の建設等のための 費用 (経済産業省)	最大360億円	92	171	263
③途上国等の出展支援のための 費用 (経済産業省・外務省)	約240億円 (主催国として博覧会国際事務局 (BIE) に対して約束した日本側の途上国支援費用の総額) ※1	9	92	101
④会場内の安全確保に万全を 期するための費用 (経済産業省)	約199億円	0	4	4
⑤全国的な機運醸成等に要する 費用	約38億円+今後の費用	5	33	38

※1 BIEに対して約束した日本側の途上国支援費用の総額「約240億円」の内数としては、博覧会協会による会場建設費(国費負担は1/3)のうち約50億円もカウントされる。一方で、③には、途上国支援費用のほか国連の出展支援のための費用として約11億円を見込んでいるところ、「途上国等(途上国及び国連)の出展支援のための費用」として、約240億円を費用総額の見通しとしている。

※2 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

(参考) ⑤全国的な機運醸成等に要する費用

※令和3年度当初～令和5年度補正

国際博覧会の機運醸成に向けた取組（内閣官房（国際博覧会推進本部事務局）） [約15億円]

- 大阪・関西万博の成功に向けて全国的な認知度等をさらに向上させ、国民の興味や関心、期待感等を高めていくために、関係機関と連携しながら、広報・プロモーション等を行うとともに、全国の自治体と万博参加国との交流を促進する。

大阪・関西万博に向けた文化資源の活用推進事業（文部科学省） [約5億円]

※令和5年度補正

- 「日本博 2.0」の一環として、地方公共団体が主体となり、地域の文化芸術資源を活用して各地域において実施する芸術祭等の文化芸術事業を支援することで、大阪・関西万博の機運醸成を一層加速化する。

デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府（地方創生推進事務局）） [15億円]

※令和5年度補正

- 大阪・関西万博の開催を契機として、各都道府県において新たに実施する地方創生に資する取組を支援する。

警察の警戒警備に要する資機材費用等（警察庁） [約2億円]

※令和5年度当初・補正

- 警察の警戒警備のための不審ドローンの検知資機材、警戒用カメラ等の整備等を行う。

万博の展示企画等のための費用（厚生労働省） [約1億円]

※令和5年度補正

- 再生医療等、先進的な医薬品等に関する大阪・関西万博の展示企画等を行う。

1. 大阪・関西万博に関連する国の費用について（2）

2023年12月19日公表版

【大阪・関西万博の誘致・登録に係る費用】

- 2018年の開催地決定までの間に大阪・関西万博の誘致に要した費用、及びその後2019年の登録までに要した費用は、総額約27億円（全て支出済、今後の追加支出なし）

（経済産業省）

- 誘致に要した費用 約18億円
 - ✓ 2025年国際博覧会の開催等に関する調査
 - ✓ 国際博覧会誘致に向けたコンテンツ発信 等
- 登録申請に要した費用 約4億円
 - ✓ 大阪・関西万博のテーマ具体化
 - ✓ 登録申請書の作成に係る補助調査 等

（外務省）

- 誘致に要した費用 約5億円
 - ✓ BIE加盟国の代表等の招へい
 - ✓ 在外公館を通じた広報 等

※1 誘致に要した費用については、平成28年度～平成30年度における、誘致に関連する事業の執行額の総計。

※2 登録申請に要した費用については、令和元年度～令和2年度における、登録申請に関連する事業の執行額の総計。